

2021年度 学校評価（自己評価）

横浜隼人中学・高等学校

1. 学校は学科やコースの特性に応じた教育を実践している

生徒も保護者も90%近い回答をしています。一昨年に比べ生徒・保護者の評価も上がっています。各コースが目標に沿った指導ができ、一定の結果をあげていることが評価されたと思われます。今年度は進学実績も上位層、中位層を中心にバランスよく結果（国公立合格50名、GAMARCH180名、日東駒専212名）がでて、生徒の努力の跡が見られます。また全体の底上げもでき、現役合格は過去最高の84%になりました。これに満足することなく、進路指導を中心に力を入れていきたいと考えます。

2. 学校は緊急時の対応について必要な訓練や指導をしている

今年度はコロナの影響で全体としての避難訓練は1度しかできませんでした。しかし、災害等に対する生徒の意識は高く、すみやかに訓練を終えることができました。一方でホームルームを通して災害に対する認識を深めていく必要があります。昨年と同様に教員の半数が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答しているのは、災害時の備品などの保管場所が周知されていないからと思われます。教員に対する災害意識を高めていきたいと思えます。

3. 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる

生徒の回答と教員の回答に大きな差異がありません。また2割以上の生徒がいじめに対する学校の指導に良好な回答をしていません。まだまだ目の届かないところがあるようです。今以上に教員個々が生徒一人一人に目を配り、コース会議や学年会議など通じて、教員間で生徒の情報を共有して、ご家庭と連携を図りながら早い段階での対応を心がけていく必要を感じています。

4. 学校は校内や通学時の安全に常に配慮している

「登下校の指導」「交通安全講習会（高校1年）」「自転車通学者の安全講習」等を通して安全な登下校に取り組んでいます。また教員も登校指導を行い生徒の安全を図っています。交通トラブルが発生した際は、生徒への連絡や場合によっては集会などを行い情報の共有化を図っています。それでも、歩行中に事故に巻き込まれることもありました。

最近では自転車による事故が増え、被害者になるだけでなく加害者になるケースもあり、この点も徹底して指導しています。登下校の安全確保にさらに努めていきたいと思えます。

5. 学校は個々の生徒の進路に適した教育課程を用意している

本校ではコース制や細かい選択科目を配置することにより、一人一人の進路に適した学習指導を行っています。しかし、4分の1程度の生徒が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の評価をしている点を真摯に受け止め、教科内容の質的向上をめざし、進路との結びつきも検討していく必要があります。また、生徒のモチベーションを上げる指導もより考え、実行したいと思えます。

6. 学校は進路について個々の生徒に対して丁寧な指導をしている

生徒・保護者に対する進路説明会や三者面談等が適切に行われていることで、生徒・保護者から一定の評価がなされています。また担任との二者面談も頻繁に行っております。

しかし、まだまだ本校の特色である「面倒見の良さ」が伝わっていないように思われます。教員間でも進路に関する打ち合わせをしていますが、教員個々の経験値の差にも問題があると思います。教員全体の指導力を向上させ、より良い進路に結びつけていきたいと思えます。

7. 学校での授業や補習はわかりやすく、学力向上に結びついている

生徒アンケートでは一昨年に比べ8%向上していますが、未だ4分の1程度が否定的な結果です。生徒の学習に対する意識や教員の授業力の向上に大きな課題があります。生徒と教員が互いに目的意識を明確にし、進路に向けてともに授業を作り上げていく必要があります。教員個々の努力だけではなく、教員研修や教科会などを通して授業力の改善、向上をめざしていきます。

8. 学校は教科に関する個別の質問に熱心に対応している

生徒の評価は8割以上が高評価です。保護者の評価でも7割以上の評価が得られています。本校の「面倒見の良さ」が伝わっているように思われます。ただ、教員は7割強と懸命に取り組んでいるつもりなのですが、まだまだ熱意が伝わっていません。最近、本校生徒の自学自習する姿勢が高まっていることも一因かもしれません。しかし、今後も一層丁寧に個々の質問対応に心がけていきたいと思えます。

9. 学校は生徒の悩みや相談に親身になってくれる

80%以上の生徒が良好な評価をしています。残り20%の生徒に十分なアプローチができていない結果となりました。また教員も同じような結果となっています。教員は親身になっているつもりでもまだまだ伝わっていないところもあります。個々生徒への寄り添いやアプローチの方法について改善していきたいと思えます。また、普段の生徒の様子をしっかりと観察し、適切な指導に結びつけていくことを心掛けます。

10. 学校は生徒に規律ある姿勢や態度を育てる指導をしている

生徒一人一人が公共心を持ち、また保護者の方々のご指導で規範意識の高い生徒が多いと思えます。部活動の加入率も高く、誰に対しても気持ち良く挨拶ができる生徒が増えてきています。素直な生徒が本校は多く、自分自身を高めていこうという意識が高いため規律ある学校生活を過ごせていると考えられます。一方、教員は生徒に対する期待が大きいのか、もっと生徒はできると考えています。校内だけでなく登下校でも周囲を見えるようになって欲しいと思えます。

11. 学校行事は内容が充実しており、適切な時期に実施している

コロナ禍の影響で様々な行事が中止、変更になったことが大きく影響しています。他者への思いやりや主体性、協調性を育てていくことが学校行事の役割であると考えます。

今後の感染状況を注視ながら、生徒にとって充実感を持てる行事を模索していきたいと思えます。

1 2. 学校は部活動・委員会活動・特別活動等に積極的に取り組ませている

本校は部活動の加入率も高く、積極的に活動しています。また、委員会活動やボランティア活動にも自主的に参加する生徒が増えてきていることも結果に表れています。コロナ禍の影響で十分に部活動の時間がとれていないに関わらず、8割弱の生徒が高評価をしています。状況を見ながら、引き続き学校としてバックアップをしていきたいと思えます。

1 3. 学校には教育に必要な施設・設備が整っている

教員と保護者の評価が相反する結果となっています。教員は教育環境を今以上に改善し、生徒のために更なる学習環境の向上を望んでいることが読み取れます。ICT教育の環境整備を進め、コロナ禍のなかでもリモート授業やロイロノートを活用した宿題のやり取りなども積極的に行いました。生徒一人一人にタブレットを持たせ、非常時でも学習活動を継続し、充実した学校生活を送れるように取り組んでいます。

1 4. 学校は衛生的できれいな環境を整えている

4年前に本館トイレの改修を終え、業者清掃や普段の清掃活動を通して衛生面を維持しています。また美化委員による活動は衛生面だけでなく、学校全体のマナーの向上にもつながっています。コロナ禍のなか、アルコール消毒液の共有箇所への設置や担任による教室の消毒活動も行なっています。感染をさせない対策を積極的に講じることで快適な学校生活を送り、「清潔な学校」を維持していくことに努力します。

1 5. 学校はホームページやお知らせメール等でよく情報を発信している

保護者の9割近くに評価されています。本校ではホームページを通して学校全般の活動を積極的に発信しています。またメール配信によって配布物の確認、緊急時の連絡などもクラスルームやクラッシーを積極的に活用しています。今後ご家庭との情報共有の架け橋になるように発信していきたいと思えます。

1 6. 必要に応じて学校と家庭の連絡がとられている

保護者の8割以上から評価されています。本校では学校生活の中で気に掛かることやトラブル、悩みを抱えているときにはご家庭に連絡をしています。生徒を少しでも良い方向に導いていくためにはご家庭と学校が車の両輪となって協力していくことが大切です。ご家庭の協力なくしては生徒たちは育っていきません。そのためにもご家庭との連絡をより密にして、情報共有していきたいと思えます。

以 上